

寛政の改革 18世紀末

[ 月 日 ]

1 \_\_\_\_\_ 11代 1787~1837. 一橋家出身

2 \_\_\_\_\_ の登用(老中首座)… 3 \_\_\_\_\_ の改革[1787~93]

… 田安家出身(吉宗の孫)で養子として白河藩主に→天明の飢饉で餓死者を出さず  
「田や沼(=田沼)やよごれた御世を改めて 清くぞ澄める白河(=松平定信)の水」

A. 飢饉対策・農村の復興・無宿者対策

- ① 4 \_\_\_\_\_ (困粍)の制…諸大名1万石につき米50石の備蓄(5年間継続)を命令
- ② 各地に 5 \_\_\_\_\_ (富裕者の供出)・ 6 社倉(一般庶民から) …穀物備蓄
- ③ 7 七分積金(七分金積立)[1791]…江戸の町入用(経費)を節約。節約分の7割を江戸町会所に  
積み立てて運用(融資)し、その利子を貧民救済にあてる→御救小屋
- ④ 8 \_\_\_\_\_ …江戸の 9 無宿者に資金を与えて帰村を勧める
- ⑤ 10 \_\_\_\_\_ [1790]…江戸 11 石川島に 12 無宿者の強制収容・職業訓練 13 長谷川平蔵の建言  
他に 助郷の軽減、出稼ぎの制限、営利副業禁止、墮胎・間引きの禁止など  
おすくい  
ひつけとうぞくあらため  
火付盗賊改

B. 経済・商業の抑圧

- ⑥ 14 \_\_\_\_\_ [1789]…1784年以前の債務は破棄 1789年までのものは年利6% →旗本・御家人の救済
- ⑦ 15 儉約令…各階層別に公布 札差ら打撃  
他に、株仲間の一部廃止、長崎貿易の制限、米価・物値の調整など

C. 人材育成、思想統制、風俗取締

- ⑧ 16 \_\_\_\_\_ [1790]…聖堂学問所では、17 正学(朱子学)以外は講義禁止。  
※ 18 寛政の三博士が推進…柴野栗山、尾藤二洲、岡田寒泉(のち古賀精里)
- ⑨ 19 \_\_\_\_\_ 学問所…聖堂学問所(20 昌平黌[しょうへいこ]を改称 私塾から官立に 林述斎(大学頭)
- ⑩ 風俗規制…男女混浴・女髪結・私娼(非公認売春)などの禁止
- ⑪ 21 出版統制令…政治批判や風俗を乱すものとして弾圧

<例> 22 山東京伝(洒落本)、23 恋川春町(黄表紙)、24 蔦屋重三郎(版元)らを弾圧 (→江戸16)

25 \_\_\_\_\_ 『26 \_\_\_\_\_』 1787~91…ロシア南下を警告、海防の急を説く  
(仙台 兵学者) 『27 三国通覧図説』 1785…朝鮮・琉球・蝦夷地の地理書  
→ 1792.5 処罰(出版禁止、版木没収、蟄居 →1793.6/21没)

※ 1792.9/3. ロシア公式使節が根室へ来航 (→江戸20)

影響・厳しい統制→効果は一時的 庶民の不満 「白河の清きに魚の住みかねて元の濁りの田沼恋しき」  
・商業統制の失敗 ・ 対外政策の遅れ

崩壊 28 \_\_\_\_\_ … 29 光格天皇の父典仁親王(元天皇ではない)に“太上天皇” } →定信の反対で  
大御所問題 … 徳川家斉の父一橋治済(元将軍ではない)に“大御所” } 中止  
定信失脚[1793] →以後は白河藩政と学芸に <例>『宇下人言』(自伝)『花月草紙』(隨筆)

諸藩の藩政改革(天明～寛政期) 18世紀後半以降

**背景** 藩財政の窮乏・百姓一揆の多発 など.

**特色** ①<sub>30</sub>藩主が主導 ②<sub>31</sub>藩学(藩校)の設立…人材の育成

③<sub>32</sub>\_\_\_\_\_の奨励→<sub>33</sub>専売制の実施…国産会所(産物役所)の設置

<例> <sub>34</sub>\_\_\_\_\_ (<sup>ぎんだい</sup>銀台)[熊本]…藩学<sub>35</sub>時習館(1755) 治水・減税 <sup>はぜ</sup>櫛栽培奨励→ロウの専売

<sub>36</sub>\_\_\_\_\_ (<sup>ようざん</sup>鷹山)[米沢]…藩学<sub>37</sub>興讓館(1776再建) 財政整理 <sub>38</sub>米沢織の奨励と専売

<sub>39</sub><sup>よしまさ</sup>佐竹義和[秋田]…藩学<sub>40</sub>明德館(1792) 織物・製紙・醸造などの育成

諸藩の藩政改革(天明～寛政期) 19世紀前半

**定信失脚後** 家斉が実権 子の<sub>41</sub>\_\_\_\_\_ (1837-1853)に將軍を譲ってからも…<sub>42</sub>大御所時代[1793～1841]

※主な年号: <sub>43</sub>\_\_\_\_\_、<sub>44</sub>\_\_\_\_\_ → 「化政期」

- ・財政の破綻…御用金や貨幣改鑄(<sub>45</sub>文政金銀)で補う→商業の活性化・庶民文化の爛熟
- ・治安の悪化 →<sub>46</sub>\_\_\_\_\_ (<sub>47</sub>八州廻り)設置(1805)…無宿・<sup>ぼくと</sup>博徒の取締

【正誤問題に挑戦】<1991年度追試験、1993年度追試験より>

- X. 幕府は、江戸の石川島に人足寄場を設けて無宿者などを収容した。
- Y. 秋田藩では、藩主佐竹義和が荒廃した農村の復興と特産物生産を奨励し、藩学(藩校)を振興した。

寛政の改革 18世紀末

[ 月 日 ]

1 **家斉** 11代 1787~1837. 一橋家出身

2 **松平定信** の登用(老中首座)…3 **寛政** の改革[1787~93]

… 田安家出身(吉宗の孫)で養子として白河藩主に→天明の飢饉で餓死者を出さず  
「田や沼(=田沼)やよごれた御世を改めて 清くぞ澄める白河(=松平定信)の水」

A. 飢饉対策・農村の復興・無宿者対策

- ① 4 **困米** (困糶) の制…諸大名1万石につき米50石の備蓄(5年間継続)を命令
- ② 各地に5 **義倉** (富裕者の供出)・6 **社倉** (一般庶民から) …穀物備蓄
- ③ 7 **七分積金(七分金積立)** [1791]…江戸の町入用(経費)を節約。節約分の7割を江戸町会所に  
積み立てて運用(融資)し、その利子を貧民救済にあてる→御救小屋
- ④ 8 **旧里帰農令** …江戸の9 **無宿者** に資金を与えて帰村を勧める
- ⑤ 10 **人足寄場** [1790]…江戸11 **石川島** に12 **無宿者** の強制収容・職業訓練 13 **長谷川平蔵** の建言  
他に 助郷の軽減、出稼ぎの制限、営利副業禁止、墮胎・間引きの禁止など  
ひつけとうぞくあらため 火付盗賊改

B. 経済・商業の抑圧

- ⑥ 14 **棄捐令** [1789]…1784年以前の債務は破棄 1789年までのものは年利6% →旗本・御家人の救済
- ⑦ 15 **儉約令**…各階層別に公布 札差ら打撃  
他に、株仲間の一部廃止、長崎貿易の制限、米価・物値の調整など

C. 人材育成、思想統制、風俗取締

- ⑧ 16 **寛政異学の禁** [1790]…聖堂学問所では、17 **正学(朱子学)** 以外は講義禁止。  
※18 **寛政の三博士** が推進…柴野栗山、尾藤二洲、岡田寒泉(のち古賀精里)
- ⑨ 19 **昌平坂** 学問所…聖堂学問所(20 **昌平黌** [しょうへいこ]) を改称 私塾から官立に 林述斎(大学頭)
- ⑩ 風俗規制…男女混浴・女髪結・私娼(非公認売春)などの禁止
- ⑪ 21 **出版統制令**…政治批判や風俗を乱すものとして弾圧  
〈例〉22 **山東京伝(洒落本)**、23 **恋川春町(黄表紙)**、24 **蔦屋重三郎(版元)** らを弾圧 (→江戸16)  
25 **林子平** 『**海国兵談**』 1787~91…ロシア南下を警告、海防の急を説く  
(仙台 兵学者) 『**三国通覧図説**』 1785…朝鮮・琉球・蝦夷地の地理書  
→ 1792.5 処罰(出版禁止、版木没収、蟄居 →1793.6/21没)  
※1792.9/3. ロシア公式使節が根室へ来航(→江戸20)

影響・厳しい統制→効果は一時的 庶民の不満 「白河の清きに魚の住みかねて元の濁りの田沼恋しき」  
・商業統制の失敗 ・対外政策の遅れ

崩壊 28 **尊号一件** …29 光格天皇の父典仁親王(元天皇ではない)に“太上天皇” } →定信の反対で  
大御所問題 … 徳川家斉の父一橋治済(元将軍ではない)に“大御所” } 中止  
定信失脚[1793] →以後は白河藩政と学芸に 〈例〉『宇下人言』(自伝)『花月草紙』(隨筆)

諸藩の藩政改革(天明～寛政期) 18世紀後半以降

**背景** 藩財政の窮乏・百姓一揆の多発 など.

**特色** ①<sub>30</sub>藩主が主導 ②<sub>31</sub>藩学(藩校)の設立…人材の育成

③<sub>32</sub>国産の奨励→<sub>33</sub>専売制の実施…国産会所(産物役所)の設置

<例> <sub>34</sub>細川重賢(銀台)[熊本]…藩学<sub>35</sub>時習館(1755) 治水・減税 櫛栽培奨励→ロウの専売

<sub>36</sub>上杉治憲(鷹山)[米沢]…藩学<sub>37</sub>興譲館(1776再建) 財政整理 <sub>38</sub>米沢織の奨励と専売

<sub>39</sub>佐竹義和[秋田]…藩学<sub>40</sub>明德館(1792) 織物・製紙・醸造などの育成

諸藩の藩政改革(天明～寛政期) 19世紀前半

**定信失脚後** 家斉が実権 子の<sub>41</sub>家慶(1837-1853)に將軍を譲ってからも…<sub>42</sub>大御所時代[1793～1841]

※主な年号：<sub>43</sub>文化、<sub>44</sub>文政 → 「化政期」

・財政の破綻…御用金や貨幣改鑄(<sub>45</sub>文政金銀)で補う→商業の活性化・庶民文化の爛熟

・治安の悪化 →<sub>46</sub>関東取締出役(<sub>47</sub>八州廻り)設置(1805)…無宿・博徒の取締

【正誤問題に挑戦】<1991年度追試験、1993年度追試験より>

X. 幕府は、江戸の石川島に人足寄場を設けて無宿者などを収容した。○

Y. 秋田藩では、藩主佐竹義和が荒廃した農村の復興と特産物生産を奨励し、藩学(藩校)を振興した。○